

# 佛大×高雄中 地域活性化プロジェクト

活動場所：右京区 活動開始：平成28年4月～

佛教大学社会連携センター  
三尾活性化プロジェクト



高雄自治連合会  
高雄保勝会  
高雄中学校

## ■ 地域が抱えていた課題

近年、高雄・槇尾・梅尾の三尾を訪れる観光客が減少している。集客が見込める紅葉シーズンでさえ減少傾向にあり、それ以外のオフシーズンは観光客が極めて少ない現状にある。

そのため、これまでの観光客は年配の方が多かったが、今後は若い女性層や外国人観光客にも来ていただけるよう、様々な企画で高雄地域を活性化させたい。

## ■ 取組（連携）のきっかけ

地元信用金庫の仲介により高雄保勝会を紹介されたことをきっかけに、高雄地域の近年の観光客減少問題の解決に向け、紅葉シーズンだけでなく、継続的に活性化する事業を地元中学生と大学が力を合わせて検討することとなった。

例年、11月から約1ヶ月間ライトアップを実施しているが、その事業に対しても、高雄地域の知名度をアップしてもらいたいとの申し出があり、佛大社会連携センターのプロジェクトとして「京都・三尾活性化プロジェクト」を立ち上げ、学生を募集し、進めることとなった。

## ■ 具体的な連携の取組

高雄地域の視察や話し合いを進める中で、平成28年度は高雄保勝会及び高雄中学校が連携協力して、観光客の集まる紅葉のライトアップ期間に、新たなライトアップ企画を展開する。具体的な取組としては次の4点。①紙パックを再利用して、高雄中学校の生徒と夢バックライト400個の制作②巨大走馬灯の制作展示③紅葉を使った菜づくりの体験コーナー④ジャズ・雅楽・ピアノ演奏。

また、大学のマスコットキャラクター「ぶったん」も登場し、観光客を楽しませる。

## ■ 今後の活動

提案した4企画の検証を行うとともに、平成27年度末に、高雄保勝会から課題として挙げられていた、紅葉シーズン以外の観光客の少ない時期に、外国人や若者をターゲットとした観光客を集客できるような企画の立案に取り組む。そのため、佛教大学学生の意見をまとめ、高雄保勝会や高雄中学校との協議を行い、平成29年度の夏を目途に企画提案できるよう進めていく。

## ■ 成果

### ①大学・学生の視点

大学は地域と連携することで、地域の問題解決のための提案をすることができる。

学生は、プロジェクトに参加することにより、メンバー同士の交流や地域の方々との交流を深め、チームワーク力・コミュニケーション力を身につけることができるとともに、課題解決能力の向上や更なる問題提起ができる。

### ②地域の視点

中学生が地域活動へ参加することにより、地域を愛する心が育成でき、自分たちの力で地域の事業に参加することの喜びを感じることができる。また、今後も新たな事業による地域への貢献活動に協力する契機となる。

地域は、大学と課題解決に向けて連携することにより、高雄地域が新たにターゲットとしている若者や外国人観光客を呼び込む契機となる。また、小学校も含めて、地域全体で活性化にむけた協力体制が深められる。

## 活動写真



留学生との高雄視察



高雄中での打合せ



佛教大学マスコットキャラクター「ぶったん」



夢バックライトイメージ



高雄の紅葉



高雄中での走馬灯制作

